

サギソウ(ラン科)

Habenaria radiata (Thunb.) Spreng.

兵庫県：Bランク

環境省：準絶滅危惧

種の概要

前年の送出枝の先端に生じた円形の球茎から地上茎を出す。茎は高さ15-40cm、茎の下部に3-5葉、およびその上部に少数の鱗片葉がある。7-8月、白色で径3cmばかりの花を咲かせるが、その姿は白鷺が舞うようで美しい。苞は卵状披針形、長さ5mm。萼片は緑色で、背萼片は広卵形、側萼片はゆがんだ卵形をなし長さ8mm位。側花弁は白色でゆがんだ卵形、背萼片とともにかぶとをつくり、長さ10-12mm、下半部外縁に不ぞろいの鋸歯がある。唇弁は大きく、3深裂し、中裂片は披針形、側裂片は側方に開出して斜扇形で縁は深く細裂する。距は長さ3-4cm、斜めに下垂し先端はしだいに太くなる。葯室は平行し、各室に1個の花粉塊を入れる。花粉塊は卵形で黄色。

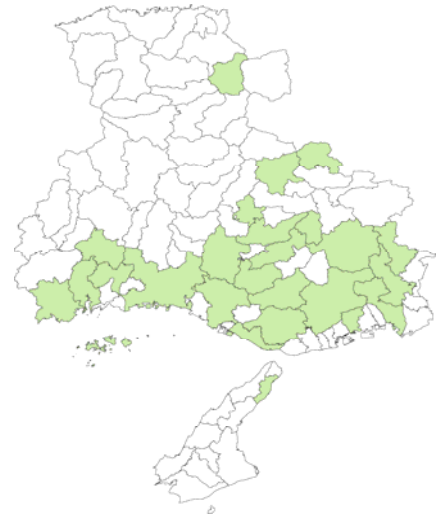
(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州

県内分布

出石町、赤穂市、相生市、新宮町、龍野市、家島町、姫路市、中町、西脇市、加西市、社町、小野市、三木市、加古川市、明石市、氷上町、市島町、今田町、三田市、神戸市、猪名川町、宝塚市、西宮市、東浦町



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○	○	○				○

特記事項

観賞用等採取のため、急激に減少している。

保護上の留意点

生育地の保全